

問1 福岡県の工業は、1970年から2020年にかけてその構造が大きく変化しました。1970年時点では製造品出荷額において鉄鋼が大きな割合を占めていましたが、2020年には自動車などの生産を中心とする工業分野が県内最大の割合を占めるようになっていきます。この、近年福岡県で成長が著しい工業分野の名称を次の中から選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 輸送用機械 2. 食料品 3. 化学工業 4. せんい工業

問2 九州地方の工業の特徴について、四国地方などの近隣地域と比較した際の説明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 瀬戸内工業地域とのつながりが強く、大型船の往来が可能な沿岸部での造船業が内陸工業よりも圧倒的に盛んである 2. 九州全域で重厚長大な鉄鋼業が発展しており、高速道路は主に製鉄に必要な原材料の陸上輸送を支えている 3. 内陸部の交通網の発達により、空港や高速道路の近くに集積回路（IC）などの工場が数多く立地している 4. かつての八幡製鉄所を中心とした重化学工業から、現在は内陸部での石油化学コンビナート形成へと主流が移っている

問3 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

1. 五島列島 2. 隠岐 3. 佐渡 4. 対馬

問4 九州地方の自然環境に関する説明として、火山の活動によってできた「大きなくぼ地」を指す用語と、その形成過程の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)

1. 断層：地震などの地殻変動により、地層にズレが生じてできた 2. 盆地：周囲を山地に囲まれ、地殻変動によって相対的に低くなった 3. シラス台地：火山噴出物が積もってできた、水はけのよい台地 4. カルデラ：火山の噴火やその後の陥没によって形成された

問5 沖縄県に見られる伝統的な家屋の特徴について、その構造と目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 床を非常に高く作る高床倉庫の仕組みを取り入れ、風通しを良くして湿気を防いでいる。 2. 外壁を厚い土壁にし、窓を小さくすることで、冬の寒冷な空気が室内に入るのを防いでいる。 3. 屋根の瓦を漆喰で固め、周囲を石垣で囲むことで、台風の強風から家屋を守っている。 4. 屋根を急傾斜の茅葺きにし、冬の厳しい積雪の重みに耐えられるようにしている。

問6 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 園芸農業 2. 近郊農業 3. 稲作 4. 酪農

問7 九州地方にある4つの県（福岡県、熊本県、長崎県、鹿児島県）の統計を比較したとき、次の条件にすべて当てはまる県はどこですか。
・人口は約165万人である。 ・農業産出額のうち、野菜（約557億円）に比べて、畜産（約2837億円）の割合が圧倒的に高い。
・海面漁業の漁獲量も約7万7千トンと多く、水産業も盛んである。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 長崎県 2. 熊本県 3. 鹿児島県 4. 福岡県

問8 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 東京都公立入試 類似)

1. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。 2. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。 3. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。 4. 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。

問9 九州地方の工業発展の歴史と、その後の変化について述べた文として正しいものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)

1. 現在も九州北部では石炭が主要なエネルギー源として採掘され続けており、重化学工業の出荷額が全国1位を維持している。 2. 明治時代から石炭資源を背景に重工業が発展したが、現在はIC（集積回路）や自動車工業など産業の多様化が進んでいる。 3. かつては石油資源の産出によって重工業が発展したが、現在は環境保護のために全ての工場が内陸部へ移転している。 4. 九州北部の工業は、地熱発電による電力を主軸として発展しており、石炭や石油などの化石燃料を一切使用したことがない。

問10 九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営 2. 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリングラーによる果樹栽培 3. 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作 4. 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作

問11 九州地方南部の鹿児島県を中心に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く降り積もって形成された台地を何と呼びますか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)

1. フォッサマグナ 2. カルデラ 3. 泥炭地 4. シラス台地

問12 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。 2. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。 3. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。 4. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。

問13 沖縄県の人口動態を示した統計において、出生率が11.6、死亡率が8.1となっており、出生率が死亡率を大きく上回るデータが示されています。このような数値の背景にある、沖縄県の人口増加の主な要因を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

1. 出生率が全国的に見ても高く、死亡数を上回る自然的増加が続いているため 2. 観光産業の発展により、県外からの労働者が転入し続ける社会的増加が主な要因であるため 3. 若年層の他県への流出が止まり、合計特殊出生率が急激に低下したため 4. 他県から移住してくる高齢者が多いため、死亡率が全国で最も低くなっているため